



肺癌に対する手術治療

日時 2025年7月9日(水)18:30～19:30

場所 呉医療センター
管理棟4階地域医療研修センター1・2

座長 呉医療センター
呼吸器外科科長 三村 剛史

講師 広島大学 原爆放射線医科学研究所
腫瘍外科 教授



岡田 守人 先生

肺がんは罹患率・死亡率がともに高く、依然として非常に治療が難しいがんです。従来、肺がん手術では腫瘍が小さくても、腫瘍が存在する肺葉全体を切除することが標準的でした。しかし、2cm以下の小さな肺がんに対しては、肺活量の温存や術後の生活レベルの向上を目的として呼吸機能温存手術が行われるようになってきました。この縮小手術と胸腔鏡手術の組み合わせは、究極の体にやさしい肺がん手術といえるでしょう。2018年4月からはロボット支援手術「ダビンチ」を用いた肺がんの手術も保険適用となり、我々は「ハイブリッドVATS（胸腔鏡手術）」による区域切除をロボット手術にも積極的に取り入れています。

◆当講演会は、院内外を問わず、医療関係者すべての方を対象とさせていただきます。お気軽にご参加ください。

連絡先 〒737-0023 呉市青山町3番1号
国立病院機構呉医療センター 管理課
TEL (0823) 22-3111 ホームページ: <https://kure.hosp.go.jp>



思いやりのある
やさしい誠実な医療を
提供します

